

あ お だ け

㊦かるく ㊧つも ㊨きに ㊩づける

竹山小学校創立 50 周年

令和 4 年 1 月 7 日

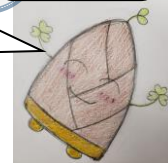


1月号

基本の感染防止対策、石けん
手洗い・換気・
密をさけるを
引き続きしっ
かりと行いま
しょう！

2022年 寅年を迎えて ~未来を見据えて進もう~

いよいよ 1月29日は
創立50周年式典です！



校長 大原 敦子



あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、本日より学校もスタートしました。子どもたちはどのような年末年始を過ごしたのでしょうか。昨日は思った以上に雪が降ったので喜んでいた子どもも多かったかと思いつつ、学校だよりを書いています。

私の年始の楽しみは、箱根駅伝をテレビの前で応援することです。今年は予選会を勝ち抜いて初出場した駿河台大学の走りが楽しみの一つでした。4区今井選手から5区永井選手への、かつての教え子へ襷をつなぐ場面には感動しました。このチームのめあては「1本の襷を最後までつなぐ」ことでした。平成以降箱根駅伝に初出場した大学は昨年までで9校、そのうち襷を最後までつなげられた大学は3校のみだそうです。そのような中で10校目となる駿河台大学はめあてを達成し、10区の選手がゴール直後に「楽しかった」とつぶやく姿が印象に残りました。

新記録で総合優勝した青山学院大学の原監督が、以前は青学に入れば走りが速くなると考える子が多かったが、今は自分を律し自走する（自分で考えて走る）ように選手たちが育ってきたというような話をされていたのも、教育者として考えさせられるものでした。

さて、2022年4月1日から、成人年齢が変わり、満18歳で成人となります。世界の国々の成人年齢を見ると、18~21歳と幅がありますが、18歳成人という国がかなり多くあります。すでに選挙権は18歳からとなりますが、4月からは様々な契約なども保護者の同意なく本人の責任で行うことができます。が、そこには大きな危険も伴います。この休みに読んだ新聞等には、「今」のことだけ考えるのではなく、10年後20年後の世界を見据えて、今何が必要なのかを考えること、未来にありたい姿を思い浮かべ、そこから戻って今何をすればよいのかを考えることの大切さが、様々な記事に書かれていました。箱根駅伝でのめあてをもってチームで達成していく姿や、自分で考えて走る姿勢にも、通ずるものがあると感じました。

今、目の前にいる子どもたちが竹山小を卒業し、6年後に成人となるときにどうあってほしいのか、それを見据えて小学校6年間でどんな力を身に付けていけばよいのかを、保護者の皆様・地域の方々・教職員で共にしっかりと考えることの重要さを改めて感じた、2022年寅年の年明けでした。今年もよろしく願っています。